

# 議員ふじさん歩

〈取材担当:井上 保〉

## 「鎌倉殿の13人」ゆかりの地

よろい が ふち

## 『鎧ヶ淵親水公園』



▲三ツ沢三度時稻荷神社

岳南原田駅から200メートルほど東にある滝川沿いを富士山に向かって北へ行くと「鎧ヶ淵親水公園」があります。入口の石碑には、「治承4(1180)年10月の富士川の合戦のとき、源頼朝がこの淵の岩に鎧をかけ身体を洗ったため鎧ヶ淵と呼ばれるようになった」と紹介されています。今も豊かで澄んだ湧水が清らかに流れ、当時、この水で身を清めた武将の凛とした気分を思わずにはいられません。

公園からさらに北へ坂を上ると、三ツ沢の三度時稻荷神社があります。この周辺は、頼朝が富士の巻狩のとき、幕を三度巻いたことから「三度時(巻)」と呼ばれています。令和2年に誕生した「さんどまき」という町名は、この三度時が由来とされています。

歴史に思いをはせながらの健康ウォーキングにお勧めです。



▲鎧ヶ淵親水公園

## 議会にひと言

今回は、富士自然観察の会、富士市子どもエコクラブサポーター連絡会の会長で、富士市環境アドバイザーの小澤緑さんにお聞きしました。



(インタビュー:佐野智昭)

富士市は、自然の恵みの宝庫です。子供たちには身近な自然と親しむ活動を通じて、富士市の

まちや地域の環境を好きになってほしい、人と人とのつながりを大切にしたい気持ちや育んでほしいと願い、日々活動しています。

市をはじめ、企業や地域の皆様の環境保全や美化運動、環境学習などに対する取組や活動はとても励みになり、感謝しています。

今後、多様な団体がつながり、世代を超えて気づきや思いを共有し、富士市の自然や心の豊かさを大切にしたい活動がますます活発になっていくような仕組みができることを期待しています。

## 議会ヒストリー

Vol.16

### 新たな玄関口、新東名高速道路開通(平成24年)



▲建設中の新東名橋脚

東名高速道路の渋滞緩和を目的とした新東名高速道路の建設に向けた国の動きを受け、市議会では、平成3年5月、第二東名自動車道対策特別委員会を設置し、アクセス道路の整備等の課題解決に向け、議論を始めました。

平成14年、国では日本道路公団の民営化問題に端を発し、高コストである新東名高速道路建設の見直しや一時休止が話題となりました。市議会では、用地取得や本体工事が順調に進捗しており、中止は容認できないとして、同年2月、第二東名自動車道の建設促進に関する意見書を国へ提出し、早期建設を強く求めました。

平成24年4月に新東名高速道路の県内区間が開通し、新富士インターチェンジは現在、1日約1万5000台が利用する富士市の新たな玄関口となっています。(担当:吉川隆之)

## 編集後記

今回の特集では、コロナ禍で1年延期していた第六次富士市総合計画に基づき計画されている事業の中で、議会が目指すものについて掲載しました。これらの事業は、2月定例会の令和4年度市長施政方針に対する代表質問や、一般質問でも取り上げられ、大いに議論を交わしました。市議会では、富士市の新たな時代に向けた取組に対し、市民の声に耳を傾けながらしっかりと議論し、進めてまいります。(長谷川 祐司)

## 次回定例会予告

6月定例会は、6月13日から6月29日まで開催される予定です。常任委員会委員の改選等が行われる予定です。

発行

富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地  
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索